#004

# アオチドリ(ネムロチドリ)

Coeloglossum viride

アオチドリ(長野県　10.5/29)

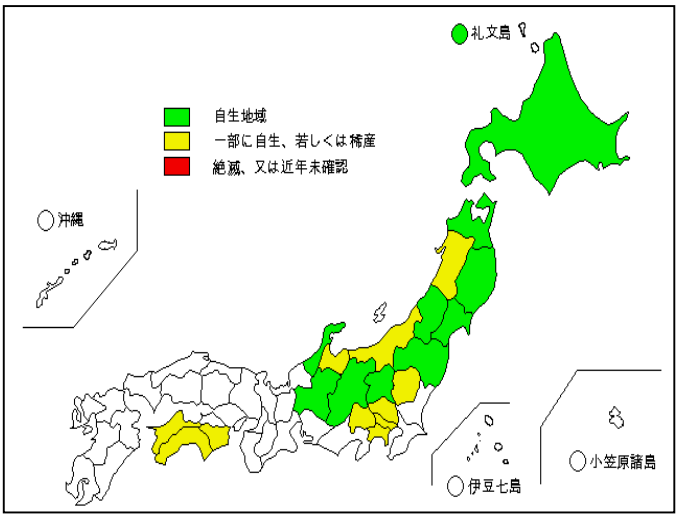
中部地方以北と四国の亜高山帯に自生するやや大形の地生蘭です。冬期は雪で覆われるような冷涼な山地に自生します。

5～6月頃に20～30cmほど伸ばした花茎に小さな花を複数輪さかせます。花と軸の色は緑～濃褐色までかなりの個体差があります。やや大形ですが、いわゆる地味な蘭ですが、近づいて間近で観察してみると、ころっとした丸い花弁に茶色のリップが長く伸びている姿は大変愛嬌があります。

明るい開けた草原などを好みますが、花の地味さから蘭とは気付かれにくく、また観賞価値も高くないことから比較的出会いやすい蘭でもあります。

草姿はトンボソウ類に似ているため、花の無い時期に本種を断定するのは困難です。

冬期は地上部は枯死し、地下茎の状態で越冬します。




東北地方を中心とした冷涼な山地に自生します

商用価値が低く売品としては出回りません。稀に野草店で売られていたとしても間違いなく盗掘固体だと思われます。よってここでは入手不可能と記載致します。

栽培についても細かな記載は避けますが、寒冷地生の蘭なので低地での栽培は容易ではありません。

黒味を帯びた固体(長野県　10.5/29)

Document and photo by LittleFlower 2010

アオチドリ（長野県　10.5/29）

アオチドリ（長野県　10.5/29）

アオチドリのリップ（長野県　10.5/29）